

企画展 品川の縄文時代					
期間	令和2年2月8日(土)～3月15日(日) 32日間				
会場	第二展示室・ロビー・小講堂				
有料観覧者	一般 773	小中 57	一般団体 0	小中団体 0	有料計 830
無料観覧者	区関係 38	区内小中 223	招待 12	高齢者 300	無料計 573
					総計 1,403

〔開催趣旨〕

品川区大井にある大森貝塚は日本考古学発祥の地として全国的に著名な縄文時代の遺跡である。品川区には、大森貝塚のほかにも居木橋遺跡や池田山北遺跡など縄文時代の遺跡があり、常設展に展示している以外の資料も多く有する。

企画展では、品川区にある縄文時代の遺跡に焦点をあて、縄文時代早期から晩期における品川の様子を紹介した。

また、大森貝塚を解説するアプリケーション「ココシル品川・大森貝塚」をリリースしたため、大森貝塚遺跡庭園に関連する展示も行い、当館と大森貝塚遺跡庭園のつながりを意識した展示とした。



〔展示概要〕

1. 大森貝塚 —モースの発掘から現代まで—
2. 品川の縄文遺跡
3. 大森貝塚遺跡庭園の展開

〔記念イベント〕

イベント名	日時	講師	会場	参加人数
学芸員による展示解説	①2月24日(月・祝) ②3月15日(日) 時間はいずれも 14:30～15:30	菊地 可南子(品川歴史館学芸員)	講堂	①16名 ②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止